

## PJ-003 石油化学工業界用重防食ポリウレア材

単独で使用されるほか、他の材料とあわせて金属、コンクリートあるいはその他の基材の表面における防食塗装、下地、耐摩耗層、耐熱層として使用されます。異なる厚さの硬化塗膜に形成できるだけでなく様々な場面に応用でき、適切に基材を処理することができます。湿気、湿度の影響を受けにくく、劣悪な環境条件の下でも使用することができます。

きわめて早い反応速度を持ち、一度のスプレーで厚さ数十ミリメートルまで施工でき、塗装面は均等かつ美しいため石油化学、化学工業などの業界における鋼鉄製化工設備及びコンクリートタンク、塩水タンク、貯蔵タンク本体、貯蔵タンクの囲い、石油や天然ガスの管などに広く応用できます。

### 製品の特徴

|  |
|--|
| 硬化速度が早く、立体面、突出面に連続して吹きつけても流れ落ちない。        |
| 湿気、湿度の影響を受けにくく、熱的安定性が良好である。              |
| 酸、アルカリ、塩等に優れた耐性を持つ。                      |
| 揮発性有機物を含まず非汚染的で環境に優しい。                   |
| 金属基材、コンクリート基材に対して良好な付着力を持ち、長期使用しても脱落しない。 |
| 耐候性に優れ、風化、退色しにくい。                        |
| 使用温度が広範囲である(マイナス45~120℃)。                |
| 吹き付け後は継ぎ目が無く、外見は滑らかかつ艶やかである。             |

### 製品スペック

|             |                                |                        |             |
|-------------|--------------------------------|------------------------|-------------|
| 揮発性有機物(voc) | 0                              | 付着力(金属基材, 引張試験法)       | ≥ 7.0 MPa   |
| 凝固時間        | 14秒                            | 耐塩水噴霧(2000hr)          | 錆, 気泡, 脱落なし |
| 伸縮強度        | ≥ 25 MPa                       | 耐介質(168hr)             | 錆, 気泡, 脱落なし |
| 断裂伸長率       | ≥ 400 %                        | 耐陰極剥離                  | 10 mm       |
| 引裂強度        | ≥ 65 N/mm                      | 混合比(体積比)               | 1 : 1       |
| 硬度(ショアA)    | ≥ 88                           | 着色                     | 可能          |
| 耐摩耗性(アクロン法) | ≤ 0.30 cm <sup>3</sup> /1.61km | 密度(g/cm <sup>3</sup> ) | ≥ 0.95~1.05 |

### 施工ポイント

|             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 乾燥時間(25±2℃) | 1分以内に表面が乾き、10分で歩行可能な強度となる。     |
| 厚み          | 2~3mm(顧客の要望に応じて決定)             |
| 塗装間隔        | 最短時間は限定されず、最長時間は3時間をこえないものとする。 |

|       |   |       |
|-------|---|-------|
| 製品仕様  | Aグループ (イソシアネート類)  | 220kg |
|       | Bグループ (アミン類)  | 200kg |
| 保管と運搬 | 風通しのよい乾燥した冷暗所に保存し、雨や湿気、直射日光、火の元から隔離させ、熱源から遠ざけ、保存温度は0~40℃とする   |       |
| 注意事項  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施工対象物の温度は露点温度3℃以上であること</li> <li>○ 開封後未使用のAグループは窒素を充填したのち密封保存すること</li> <li>○ 施工前に十分に攪拌し均等にならしておくこと(とくにBグループ)</li> <li>○ 密閉空間で施工を行なう際は良好な通気性を確保しておくこと</li> <li>○ いかなる希釈材の使用も禁ずる</li> <li>○ 未開封の場合保存期間は生産年月日から12ヶ月とする。</li> </ul> |       |

このカタログの記載内容は2019年1月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。